

やまぐち子ども・子育て 応援プラン

「みんなで子育て応援山口県」の推進

2025 >>> 2029

令和7年度

令和11年度

(やさしい版)



プランの目的

すべての子どもが夢と希望を持って健やかに育つことは、私たち山口県民の願いです。

一方で、山口県で1年間に生まれる子どもの数は、平成28年（2016年）に1万人を割り込んで以降も減少を続け、今後もさらに減少することが見込まれています。

こうした中であっても、将来にわたって、地域が元気で、山口県の未来を確かなものにしていくためには、少子化の流れを変えることが必要です。

このため、若い世代が結婚の希望をかなえ、安心して子どもを生み育てることができるよう、社会全体で子どもと子育て世帯を支え、次世代を担うすべての子どもたちが健やかに生まれ育つ環境づくりを進めるため、このプランを作りました。

プランの内容

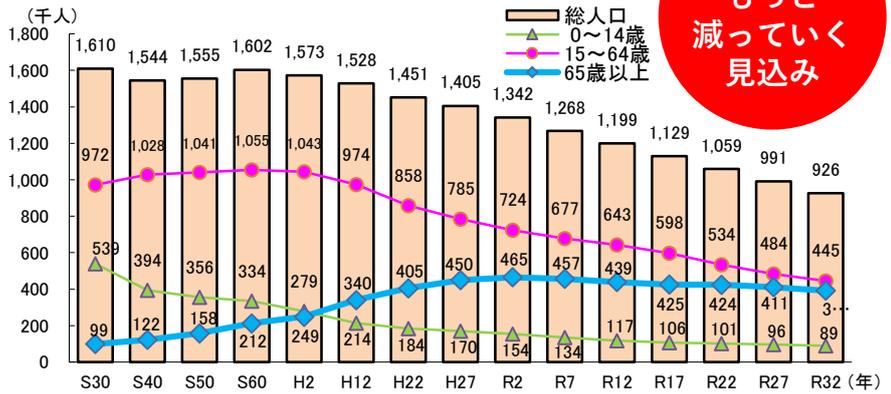
子育て支援や少子化対策のほか、子どもに関する様々な取組について書かれています。

プランの期間

令和7年度から令和11年度まで
(2025年度から2029年度まで)
の5年間です。

子どもを取り巻く状況

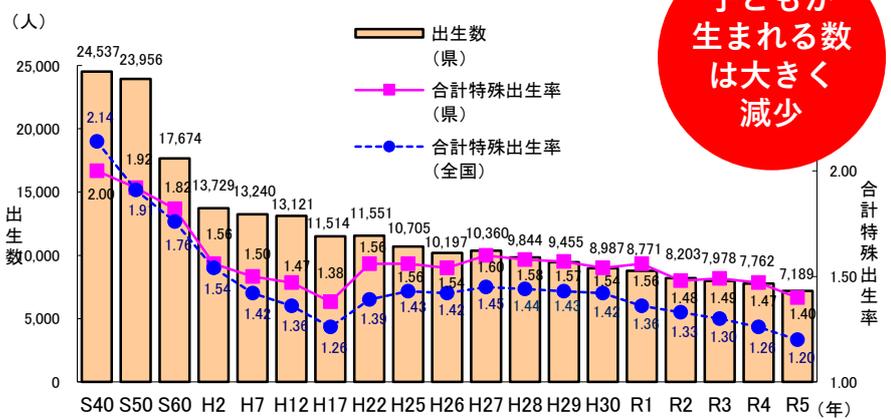
山口県における人口推計と将来推計



人口はもっと減っていく見込み

(出典) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口」(令和5年12月推計)
※H27以前は総務省「国勢調査」※総人口は年齢不詳を含むため、3区分の人口の総和と必ずしも一致しない。

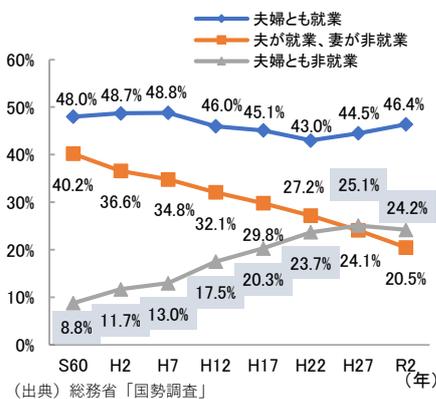
出生数と合計特殊出生率の推移



子どもが生まれる数は大きく減少

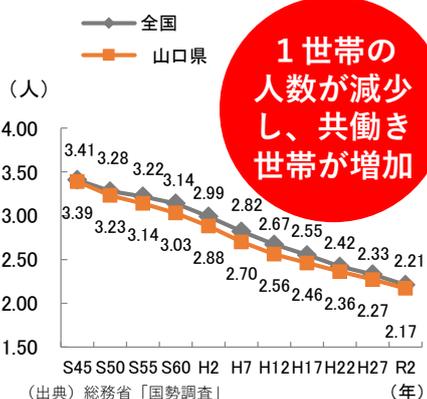
(出典) 厚生労働省「人口動態統計」

共働き世帯の増加 (山口県)



(出典) 総務省「国勢調査」

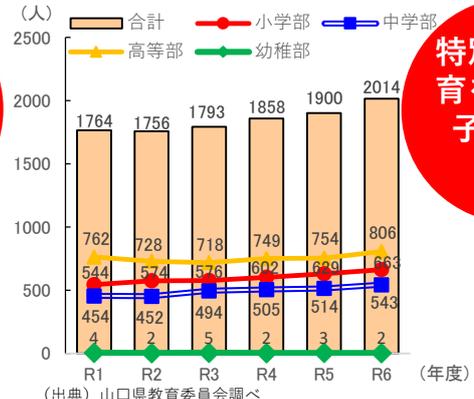
1世帯当たりの平均人員の推移



(出典) 総務省「国勢調査」

1世帯の人数が減少し、共働き世帯が増加

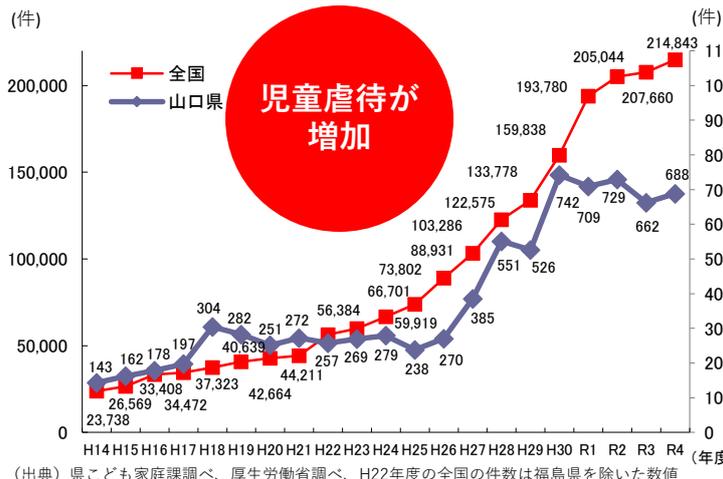
総合支援学校在籍者数の推移



(出典) 山口県教育委員会調べ

特別支援教育を受ける子どもが増加

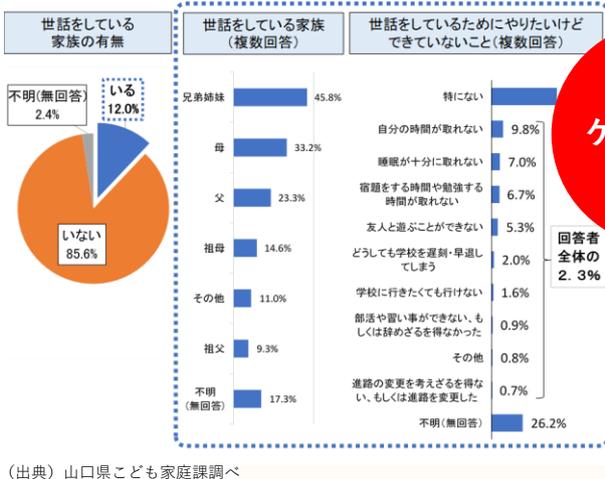
児童相談所における児童虐待の相談対応件数



(出典) 県こども家庭課調べ、厚生労働省調べ、H22年度の全国の件数は福島県を除いた数値

児童虐待が増加

山口県ヤングケアラー実態調査 (令和4年度)



ヤングケアラーが存在

(出典) 山口県こども家庭課調べ

基本目標

「みんなで子育て応援山口県」の推進

若い人たちが結婚の希望をかなえ、安心して子どもを産み育てることができるよう、社会全体で子どもと子育て世帯を支える県づくりに取り組み、「みんなで子育て応援山口県」を進めていきます。

目指す姿と取組の方向・視点

目指す姿

社会全体で子どもと子育て世帯を支える意識が県民に行き渡り、安心して結婚、妊娠・出産、子育てできる環境の中で、若い世代が生き生きと子育て等を楽しみ、子どもたちが健やかに成長しています。

結婚を希望する人が出会い、結婚できる

子どもを希望する人が安心して、妊娠・出産できる

子どもがすこやかに成長できる

すべての子どもが明るい未来を切り開くことができる

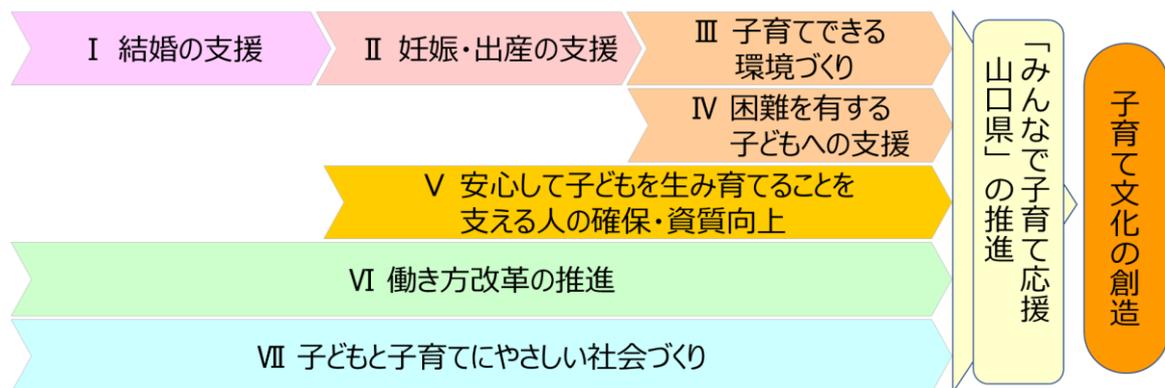
子どもや子育てを支える体制をつくる

仕事と家庭の両方を充実することができる

子どもと子育て世帯をやさしく見守り、支える社会をつくる

取組の方向

- 切れ目ない支援により、誰もが安心して結婚、妊娠・出産、子育てできる環境づくりや困難を有する子どもへの支援を進めます。
- 安心して子どもを産み育てることを支える人の確保や資質向上、働き方改革や子どもと子育てにやさしい社会づくりを進めます。



取組の視点

子どもは、一人ひとりが権利の主体であり、その人格や多様で魅力ある個性を尊重するとともに、今を生きる子どもや子育て当事者の意見を聞き、子どもにとって最もよいことは何かを第一に考える「こどもまんなか」の視点で取組を進めます。

子ども意見
★1

プランの推進

- 国や市町、県民のみなさんなど、いろいろな人たちと協力します。
- 子どもや子育て支援に関する取組など必要な情報が子育て世帯等に届くよう取り組みます。
- 子どもや子育て当事者などの意見を聞いて取り組み、子どもにとって最もよいことを実現します。
- 大学や子育て、若者などの関係者でつくる会議で、プランの進み具合や取組結果等について確認します。

子ども意見
★2

I 結婚の希望をかなえるための支援

- ◆結婚を希望する人にいろんな出会いの場を提供します。
- ◆若い人が自分の将来を考えながら生活していくことができるよう、安定した仕事につくための支援や、賃金の引上げに向けた取組を充実します。
- ◆これから成長が期待される会社の山口県への呼び込みなどに取り組みます。

○ 結婚に向けた支援を充実する

- ・出会いの機会をつくる
- ・地域や企業などが結婚を支援することを応援する

子ども意見
★3

○ 「将来、どんな人生を送りたいか」を考えるきっかけをつくる

- ・中学生や高校生などが、小さな子どもとそのお母さん・お父さんと交流する機会をつくる

子ども意見
★4

○ 若い人が安心して働けるようにする

- ・就職に向けた情報を届けたり、会社を紹介したりする
- ・資格を取るための訓練をする

○ 働きたいと思える場所を増やす

- ・若い人の賃金を引き上げるための支援を行う
- ・成長が期待される会社を山口県に呼び込む 等



やまぐち結婚応援センター



学校内子育てひろば

II 妊娠・出産の希望をかなえるための支援

- ◆妊娠したときから子育てまで、途切れることなく支え続ける体制をつくります。
- ◆お母さんと子どもが健康であるために必要な取組や、赤ちゃんを望んでも妊娠しにくい人の支援、妊娠や出産に関わる医療体制を充実し、妊娠・出産の希望をかなえることができる環境をつくっていきます。

○ 妊娠したときから切れ目なく支える

- ・身近な場所で妊娠・出産、子育ての相談ができるようにする
- ・出産前後のお母さんの心と体の調子を整える取組を充実する 等

子ども意見
★5

○ 健康な体づくりやお母さんと子どもの健康のための取組を充実する

- ・赤ちゃんや子どもの健診、感染症予防の取組などを進める
- ・若いときから自分の生活や健康に気を付けることの大切さを理解してもらう取組を進める 等

子ども意見
★6



絵本の読み聞かせ

○ 赤ちゃんを望んでも妊娠しにくい人などを支える

- ・相談したり、治療に関する情報を知ったりすることができるようにする
- ・治療にかかる経済的負担を軽減する 等

子ども意見
★7



助産師さんによるお話

○ 妊娠や出産に必要な医療を受けることができるようにする

子ども意見
★8

Ⅲ 安心して子育てできる環境づくり

- ◆みんなが安心して子育てできるよう、子育てにかかる経済的負担を軽減したり、幼稚園や保育所などの環境をととのえたりします。
- ◆病気の子どもや医療的ケア（※）を必要とする子どもなど、様々な状況に合わせた子育ての支援や、子どもの健康づくり、学校などの教育環境づくり、子どもが安全で安心して過ごせる居場所づくりを進めていきます。
※生活するために必要な人工呼吸器による呼吸の管理やたんの吸引などのこと

○ 子育て家庭の負担を軽くする

子ども意見
★9

- ・教育や医療にかかる経済的負担を軽減する
- ・子育てにかかる手続きを簡単にする 等

○ 幼稚園や保育所などの環境を充実する

子ども意見
★10

- ・幼稚園や保育所などを計画的につくる
- ・幼稚園や保育所の先生の研修をしたり、専門家が幼稚園などを訪れてアドバイスしたりする
- ・放課後児童クラブをつくる 等



奨学金の返還を支援する制度

○ 様々な子育てを支える

子ども意見
★11,12

- ・病気の子どもを県内どこでも保育できるようにしたり、放課後児童クラブが開いている時間を長くしたりする
- ・障害のある子どもや医療的ケアを必要とする子どもを支援する



感染症対策の講義・演習

○ 子どもの健康づくりを進める

子ども意見
★13

- ・子どもが必要な医療をしっかり受けることができるようにする
- ・長い治療が必要な病気にかかった子どもとその保護者を支える
- ・生まれた後すぐに病気を発見して早く治療できるようにする
- ・食生活に気を付けたり運動などの良い生活習慣を身に付けたりすることができるようにする
- ・子どもが自分の心と体を大切にできるようにする 等



1人1台タブレット端末を活用した授業

○ 教育環境を整える

子ども意見
★14,15

- ・誰もが安心して楽しく学校で過ごせるよう、授業の工夫や学校の環境の整備を行う
- ・学校・家庭・地域が一緒になって学びを充実させていく
- ・いじめや不登校などにしっかり対応する
- ・社会の変化に合わない校則を見直す 等

○ 子どもが安全・安心に過ごせる居場所をつくる

子ども意見
★16

- ・居場所づくりに取り組む人を育てたり、様々な体験活動ができる取組を支援したりする
- ・こども食堂を県内すべての地域で広げていく 等



やまぐちアドベンチャーキャンプ

IV 困難を有する子どもへの支援

◆児童虐待や子どもの貧困など、本人の努力だけではどうにもならないことで子どもたちの未来が閉ざされることがないよう、子どもとその家族を支えます。

○ 児童虐待が起きないようにする

・職員の専門性を高めるとともに、様々なところと協力し、親子関係に悩む子どもや子育てに悩む家庭を支援する

子ども意見
★17

○ 社会的養護を進める

・保護者と一緒に暮らすことができない子どもが児童養護施設等や里親のもとで成長していけるように支える

子ども意見
★18

○ 子どもの貧困対策を進める

・教育などにかかる経済的負担を軽くしたり、保護者が働けるように支援したりする

子ども意見
★19

○ ひとり親家庭を支える

・生活の悩みを相談したり、保護者が働けるように支援したりする

子ども意見
★20

○ ヤングケアラーを支える

・ヤングケアラーを早く発見・支援できるようにする

子ども意見
★21



里親カフェ



ヤングケアラー専門相談窓口

V 安心して子どもを生き育てることを支える人の確保・資質向上

◆子どもを取り巻く環境が変わる中、子どもたちへの切れ目ない支援を充実するため、子どもの成長を支える様々な人材をしっかりと確保し、資質向上を図っていきます。

○ 保育所や幼稚園などの先生

○ お医者さん、歯医者さん、薬剤師さん、看護師さん、管理栄養士・栄養士さん

○ 学校の先生

○ 保育や教育、子育てなどいろんなところで子どもを支える人たち

VI 働き方改革の推進

◆若い人が子どもを生き育てやすいようにするため、子育てに合わせて仕事ができるよう、長時間働くことを見直したり、会社に行かずに自宅で仕事ができるようにしたりするなど、いろんな働き方ができるようにします。

◆男性が家事や育児にもっと積極的に関わっていけるようにします。

○ 仕事と家庭の両方を充実することができるように支援する

・長時間働くことを見直す
・子育てに合わせて仕事ができるよう、会社の人々の理解を深めたり、結婚や出産・育児に合わせていろんな働き方ができるようにする

子ども意見
★22

○ 男性が家事や育児に積極的に関わるように支援する

・男性が育児のために仕事を休むことができるようにする
・夫婦で家事と育児を上手に分担し、一緒に子どもを育てることができるようにする

子ども意見
★23



お父さんの育児手帳

VII 子どもと子育てにやさしい社会づくり

- ◆誰もが子どもを生き育てやすい社会をつくることは、社会全体の幸福を実現するためにとっても大切なことです。
- ◆子どもと子育て世帯をやさしく支える社会にしていくため、地域や企業などでつくる「やまぐち子育て連盟」を中心に、社会全体で子育て支援に取り組みます。

○ 地域や企業、団体がつながって子どもと子育てを支える

- ・子育てに関する地域の優良な取組などを紹介し、子育ての大切さへの理解を広げる
- ・寄付金を活用し、子育て支援に取り組む団体を支える
- ・仕事と家庭の両方を充実することに取り組む企業を増やす
- ・子育て家庭へのサービスを提供する企業を増やす 等



子育て支援に取り組む団体と
寄付金で支援する企業

子ども意見
★24

○ 「こどもや子育てにやさしい休み方改革」の推進

- ・子どもと過ごすために休みやすい職場づくりを進める
- ・家族がいっしょに休日をお過ごすことができる仕組みづくりを進める

○ いろいろな人による子育て支援

- ・お年寄りや大学生など、いろいろな人が子育てを支援する活動に参加できるようにする
- ・地域で子育てを支援している団体などの活動がもっと広がるようにする 等



こどもまんなか児童福祉月間
(こいのぼり掲揚式)

○ 子どもと子育てにやさしい環境づくり

- ・様々な団体が行う子育てイベントなどを支援する
- ・子育て世帯にやさしい住まいの確保や公園の整備など、子育てがしやすいまちづくりを進める 等

子ども意見
★25,26

○ 子どもの安全確保

- ・子どもが交通事故にあわないよう、通学路の整備や交通安全教育を進める
- ・子どもが犯罪にあわないよう、インターネットの正しい利用方法を広めたり、地域のパトロール・見守り活動を進めたりする

子ども意見
★27



交通移動教室



防犯カメラの設置



子どもの見守り活動

子どもたちからの声をプランに反映

小学4年生から大学生までの子どもたち約45,000人から、安心してのびのびと育つために特に大事だと思っていることについて回答いただき、プランに生かしました。生かした箇所は、「取組の内容」に「」で示しています。

| 子どもたちの声（抜粋） | ポイント | ここに生きてます！ | |
|---|---|---|---------|
| <ul style="list-style-type: none"> ◆一人ひとりの個性や魅力を発揮できる場を作ることが大切だと思う ◆子どもの意見を聞いてほしい、取り入れてほしい | 一人ひとりの個性や意見を尊重してほしい | ・子ども一人ひとりの人格や多様で魅力ある個性を尊重しながら、様々な取組を進めていきます。 | ★ 1 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆県でどんな支援を行っているのか情報を得る方法がわからないので知りたい | 子どもに対し、県や市町でどんな支援を行っているのか、しっかりと情報提供してほしい | ・県の取組など必要な情報がしっかり伝わるよう、わかりやすい情報発信やどんな支援があるかなどについて説明していきます。 | ★ 2 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆結婚したい人が結婚できないのはもったいない ◆SNSやアプリなど時代に合ったサポートができるといい | 一人ひとりに合った方法で結婚をサポートしてほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・結婚を応援するセンターが、一人ひとりをきめ細かく支援します。 ・マナーの勉強会やイベントを開催していきます。 | ★ 3 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆結婚や子育てなど想像できない ◆学校では、仕事以外のことを学んでもいい ◆小さな子と触れ合いたい | 結婚や子育てなどについて学ぶ機会がほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・学校に小さな子と保護者が集まって生徒と交流できるよう応援します。 ・結婚や子育てについて考えることができる授業に取り組みます。 | ★ 4 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆初めて妊娠した場合は、特に不安だと思う ◆お母さんと子どもの健康に関する取組が充実すればいい | 妊娠や出産、子育てでお母さんや子どもが安心して頼れる環境がほしい | ・身近な場所で相談ができる「まちかどネウボラ」を増やし、専門的な相談もできるようにしていきます。 | ★ 5 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆性や妊娠を学べる機会がもっとほしい ◆子どもを持つことへの責任感が少ない若者が多い ◆性教育をもっと重視するべき | 性や妊娠・子育てに関する正しい知識を身に付ける機会がほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・若い人が自分の生活や健康を真剣に考えることで、出産や子育ても含めて健康で充実した人生を送れるよう取り組みます。 ・保健の授業などで正しい情報を伝えていきます。 | ★ 6 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆赤ちゃんを望んでも妊娠しないことに悩んでいる人が多いので、サポートや支援がもっとあるといい | 不妊症に悩む人への支援をもっと充実してほしい | ・不妊の相談や治療ができるよう、相談体制をもっとよくしたり、治療にかかるお金の負担を支援します。 | ★ 7 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆助かるはずの命が助からなくなる心配があるので、医療機関を充実してほしい | 医療を受けることができる体制を充実してほしい | ・赤ちゃんを生む前・生んだ後の女性や子どもが、必要な医療をきちんと受けることができるようにします。 | ★ 8 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆少子高齢化は、妊娠・出産や育児などの経済的負担が大きいことが原因の一つ ◆お金が足りないと、2人目の子どもを持つことが考えられない ◆子育ての不安感や負担感がある程度払拭し、社会が支えていく姿勢を示していくことが大切 | 妊娠・出産、子育てにかかるお金の負担を軽くし、子どもを生み育てやすい環境を整えてほしい | ・子どもがいる家庭に手当を配ったり、保育料などを無料にしたり、子どもが多くいる家庭への支援を充実するなど、いろんな取組をすすめていきます。 | ★ 9 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆保育園が少なくて保育園に入れないうちといったことがないようにしてほしい | 待機児童が出ないようにしてほしい | ・保育所などを計画的につくり、子どもを安心して育てることができるよう取り組みます。 | ★ 10 |

| 子どもたちの声 | ポイント | ここに生きてます！ | |
|--|--|---|---------|
| <ul style="list-style-type: none"> ◆障害がある人も一緒に遊びたい ◆障害があってもさべつせず、みんなと同じように笑っていてほしい | 障害の有無に関わらず、差別なく平等な生活を送れる社会にしてほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・障害への理解や障害のある子どもとない子どもの交流を進めていきます。 | ★ 11 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆医療的ケア児もみんなと一緒に学校や保育園に行けたらいい | 医療的ケア児もみんなと一緒に学校や保育園に行けるように支援してほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児とその家族が地域で安心して生活できるよう、関係するところが連絡を取り合って協力したり、専門的な相談にのったりします。 | ★ 12 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆たくさん食べ、運動し、寝るといった良い生活習慣が大事 | 健康に過ごすための支援をしてほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・小さなころから望ましい生活習慣を身に付けるよう、健康づくりに取り組めます。 | ★ 13 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆みんなが安心して学校で勉強できるといい ◆学校で安心して過ごせると、子どもたちのいいところが伸び、一人の人間として成長できる | 学校が児童・生徒にとって居場所となるよう、安心して楽しく学べる環境をつくってほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの可能性を広げることができるよう、いろんな年代の子どもたちといっしょに学んだり、お互いを尊重し合える環境づくりを進めたりします。 | ★ 14 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆不登校の子が自由に勉強できる教室が大事 ◆学校に行けなくなったときに保健室登校ができて助かった ◆友だちとのトラブルがあったときに冷静になれる場所が必要 | いじめ等で教室に行けなくても、学校内に安心していられる場所がほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・教室に行けなくても、校内で安心して勉強できる環境づくりに取り組んでいきます。 | ★ 15 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆子どもは一人ひとり個性があって、自分を隠さずに本当の自分を出せる所があると良い ◆ひとりで寂しい思いをしている子どもが居場所を見つけて安心して過ごせる場所を増やす必要がある | 一人ひとりが無理をせず、自分らしく、安心して過ごすことができる居場所を、学校や家庭以外にも増やしてほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・多くの子どもたちが、学校や家庭以外でも、いろいろ学んだり、体験したり、遊んだりできる安全で安心な居場所を増やしていきます。 | ★ 16 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆虐待を簡単に打ち明けることは無理だと思う | 助けを求めることができない子どもに支援を行き届かせてほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンなどで子どもが相談できるようにします。 ・虐待が疑われる子どもを発見したときは児童相談所に知らせるよう県民に広く知ってもらい、社会全体で児童虐待防止に取り組めます。 | ★ 17 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆日常生活を支えてくれる大人がいない子どものことを他人事と思わず助け合う場所はあっていい | 社会的養護の子どもを社会全体で支える仕組みをつくってほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな理由で家族と離れて生活しなければいけないときは、県や市町、児童相談所、学校などいろんなところが連絡を取り合って協力し、社会全体で支えていきます。 | ★ 18 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆経済的理由で夢を諦めなければならぬ子どもがいなくなればいい ◆家庭環境によって自分の将来に希望を持ってない子どもをなくしたい | 経済的な理由で子どもが夢や挑戦、進学を諦めることがないように家庭を支援してほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが勉強したり進学したりする意欲を高めていけるよう、学習環境を整えたり進学に必要な費用の支援に取り組んだりします。 | ★ 19 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆ひとり親家庭の子どもに寄り添ってあげる人がいないと成長しないかもしれない ◆ひとり親家庭が生活する上でわからないことを支援する必要がある | ひとり親家庭の子どもに寄り添う体制やひとり親への相談体制を整えてほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・身近なところでいろんな相談を受けたり、どんな支援が受けられるかなどの情報を提供したりできるように取り組めます。 | ★ 20 |

| 子どもたちの声 | ポイント | ここに生きてます！ | |
|---|---|--|---------|
| <ul style="list-style-type: none"> ◆ヤングケアラーの人は、家庭の手伝いと勉強の両立で負担が大きく、支援が必要 ◆目が届くよう、ヤングケアラーだとわかりやすくすることが必要 | ヤングケアラーをしっかりと把握し、勉強や友達と遊ぶ時間が確保できるように支援してほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・専門に相談できる場所を設けたり、市町と一緒に家庭へ支援したりしてヤングケアラーを早く見つけ、必要な支援につないでいきます。 | ★ 21 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆休暇が取りやすい会社づくりが必要 | 休暇を取得しやすい職場環境づくりを進めてほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・働いている人が自分から進んで子育てに参加できるよう、休みを取る仕組みを整えたり、優れた企業の取組を知ってもらいます。 | ★ 22 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆男性が育休を簡単に取れる状況になれば、子どもを生みたい人が増えるかもしれない ◆会社の雰囲気や仕事の内容などで産休や育休を取りづらい環境になっていることも多い | 男性が育児休暇を取りやすい環境を整えてほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・男性と女性が希望どおりに育休を取ることが当たり前になるよう、働きやすい職場環境を積極的につくる企業を支援するなど、環境を整えていきます。 | ★ 23 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆休みを増やさないと家族と過ごす時間も減る ◆休日に家族と触れ合う時間が大事 | 家族と過ごす時間を増やしてほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと親と一緒に休めて親子で楽しめる環境を整えたりする「こどもや子育てにやさしい休み方改革」を進めていきます。 | ★ 24 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆移動手段が少なく、行動が制限されるため、電車やバスなどの公共交通機関を増やしてほしい | 電車やバスなどの公共交通機関を増やしてほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・いろんなどころと協力し、買い物や通学などの日常生活に必要な交通手段に困らないように取り組んでいきます。 | ★ 25 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆スポーツする場所をもう少し増やしてほしい ◆みんなが楽しく遊べるようなところがあつたらいい | スポーツする場所や公園等を増やしてほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・県内にある多くのスポーツ施設を良くしたり、利用者が増えるように取り組みます。 ・身近な公園の整備を進めます。 | ★ 26 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆学校の周りの危険なところをなくして安全に登校できるようにしてほしい ◆サルなどの野生動物を見かけたときにどうするか教えてもらう機会がもっとあればいい | 安心して登下校できるようにしてほしいし、危険情報や対応方法などを周知してほしい | <ul style="list-style-type: none"> ・学校や警察が、通学路の交通安全について、道路を管理しているところなどと協力して取り組んでいきます。 ・人を襲うおそれのある野生動物からの被害を防ぐ方法は動物によって異なるため、専門機関と協力してお知らせしていきます。 | ★ 27 |

73の数値目標

様々な数値目標を確認しながら、計画をしっかりと進めていきます。

| 主な数値目標 | 今の状態 | 目 標 |
|-------------------------------|------------------------|----------------------|
| 学校内子育てひろばの設置校数 | 53件 | 81件 |
| 3歳児におけるむし歯のない人の割合 | 86.7% | 95% |
| 将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合（公立小・中学校） | 小学校83.9% 中学校66.1% | 小学校88.0% 中学校75.0% |
| 小児科医師数（小児人口10万人当たり） | 山口県平均91.2 全国平均122.6 | 全国平均以上 |
| 育児休業取得率（男性） | 31% | 78% |

山口県

〒753-8501 山口市滝町1-1 TEL:083-933-2740 FAX:083-933-2759

やまぐち子ども・子育て応援プラン

検索